

リーディングDXスクール事業【実践事例】

沖縄県立本部高等学校(沖縄県)【指定校】

<教育利用> ⑬ 「文章の添削を行う(Excelで出力まで)」

校種	小・中・高	校務・教育	ChatGPT、Bing、Bard	実践タイトル: 文章の添削を行う(Excelで出力まで)
			テキスト生成、画像生成、動画生成	

まず、文章全体についての改善点を挙げます。

- 文章の長さは1770字で、目標の1700字程度に合わせることができています。100字程度の字数超過は許容としますが、もし可能であれば、冗長な部分を削ることでより簡潔にすることをお勧めします。
- 文章の構成は、序論（感謝の気持ちを述べる）、本論（3年間の思い出や学びを振り返る）、結論（卒業生たちへのエールや期待を述べる）という一般的な答辞の形式に沿っています。しかし、本論の中で、クラスごとの特徴やエピソードを述べる部分がやや長くなっており、全体のバランスが崩れています。この部分は、全体の流れに沿った要点に絞込むか、もしくは別の場所に移動することを検討してください。
- 文章のトーンは、明るく前向きで、喜びや感謝の気持ちを表現しています。卒業生たちに明るい未来を思い描かせることができています。また、希望や未来への期待も強調しており、卒業生たちに夢や目標に向かって挑戦し続けることを期待しています。これらの点は、答辞の観点に沿っています。
- 文章の表現は、簡潔で高校生でも理解しやすい言葉を使用しています。公共の場でのスピーチにふさわしいフォーマルな表現も使っています。しかし、主述のねじれや誤字脱字がいくつか見られます。これらは、文章の理解や印象に影響するので、注意深く見直しを行ってください。

次に、添削した箇所を表形式で出力します。

添削前	添削後	理由
校内に咲く桜が足元に散り、優しい風が新芽を揺らす季節になりました。	校内に咲いた桜が足元に散り、優しい風が新芽を揺らす季節になりました。	「咲く」は現在形なので、「なりました」は過去形に合わせる必要があります。
3年1組は、少し恥ずかしがり屋の男子と積極的な女子が集まったクラスでした。	3年1組は、少し恥ずかしがり屋の男子と積極的な女子で構成されたクラスでした。	「集まった」は自発的な意味合いがあるので、「構成された」の方が適切です。
2年生の頃、新型コロナウイルスによって中止となっていた修学旅行に数年ぶりに行くことができました。	2年生の頃、新型コロナウイルスの影響で中止となっていた修学旅行に数年ぶりに参加することができました。	「中止となっていた」は受動感なので、「影響で」の方が原因を明確にします。「行く」は動きの方向を示すので、「参加する」の方が内容を表します。
本高祭が終わると、3年生は本格的に進路活動が始まりました。	本高祭が終わると、3年生は本格的に進路活動に取り組みました。	「始まりました」は自動詞なので、「取り組みました」の方が能動的な姿勢を示します。
そして今日、昔の制服姿が最後と考えると、寂しさがこみ上げてきます。	そして今日、昔の制服姿を最後に見ると考えると、寂しさがこみ上げてきます。	「最後と考える」は抽象的な表現なので、「最後に見る」と具体的にします。

【パイロット的な取組の段階】

② 使い方を学ぶ段階

【実践概要】卒業式の送辞の添削作業を生成AIに手伝ってもらう。

0_生徒_原稿案を自分のスマホに入力・作成→Teamsのチャットで送信・提出。 ※テキスト化(ベタ打ち)の必要性を省くため、手書き(原稿用紙)ではなく電子媒体でまとめてもらう。

- 1_教師_ゴールシークプロンプトを活用しながら、添削指導の際の観点・ポイントを生成してもらったプロンプトを考案。
- 2_教師_添削指導のプロンプトを考案・修正。
- 3_教師_生徒の原稿案をBingとChatGPTに添削してもらう。
- 4_教師_添削の目星を付け、ファクトチェックも兼ねて実際に読みながら赤入れ添削。
- 5_対面_上記「4.」の添削結果を生徒に伝えながら、生徒と一緒に生成AIの添削結果(上記「3.」をエクスポートしたもの)を見て、参考にできる要素があるかをやり取りを重ねて検討。
- 6_生徒_推敲。

【入力したプロンプト】

あなたは、生徒が書いた文章の添削指導を行う高校の国語科教師です。以下に従って、添削指導を行ってください。

- #ゴール
 - 卒業式の答辞の原稿を添削し、改善点を挙げる。
- #出力の際の注意点
 - 改善点を添削結果として明確かつ簡潔に簡易書きで出力する。
 - 添削した箇所を「添削前」「添削後」「理由」の表形式で出力する。
 - 添削指導後、勝手に書き直しの例文を出力はしない。
 - 指摘内容の重複は避ける。
- #添削指導の観点
 - 簡潔で高校生でも理解しやすい言葉を使用しているか。
 - 明るく前向きなトーンを心がけ、喜びや感謝の気持ちを表現しているか。
 - 希望や未来への期待を強調し、卒業生たちに明るい未来を思い描かせているか。
 - 1700字程度に合わせるために、要点を絞り込んで冗長にならないようにしているか。100字程度の字数超過の場合は許容とする。
 - キーマッセージを明確に伝えると同時に、関連するエピソードや例を適度に取り入れているか。
 - 主述のねじれや誤字脱字がなく、理解できる文章になっているか。
 - 公共の場でのスピーチにふさわしいフォーマルな表現を使用しているか。
 - 未来へのエールを込めつつ、成功や挑戦に対する期待を述べているか。
- #文章
 - ここに原稿案をコピペ

実践のふり振り返り

【成果】教員の作業時間が大幅に減った。

【課題】bingの場合勝手に例文を出す恐れがあるので、プロンプトを少し加工してあげないといけない